

100年ぶりの里帰り

佐野市立吉澤記念美術館



【木造エラスムス立像】重要文化財 龍江院(佐野市)所蔵
画像提供:東京国立博物館 Image: TNM Image Archives
背景画像:「当院校割簿」明治6年(1873) 龍江院(佐野市)所蔵

エラスムス立像を見つけ、天明鋳物をももった

丸山瓦全と 佐野のお宝 保護作戦!

2025年1月25日(土)~3月9日(日)
会期中の休館日/毎週月曜日(2月24日は開館)、祝日の翌日(2月12日、25日)
○開館時間/午前9時30分~午後5時 ○観覧料/一般520円(470円) ()内は20名以上の団体料金
※大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介添者1名は観覧無料(学生証・障害者手帳をご提示ください)
※団体以外は予約不要。現金のみ。入場制限を行う場合がございます。
【主催】佐野市、佐野市教育委員会、佐野市立吉澤記念美術館
【特別協力】国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館
【協力】足利市教育委員会、エラスムス像研究会、(公財)佐野市民文化振興事業団、佐野市天明鋳物振興協議会、佐野商工会議所、大聖院、龍江院



丸山瓦全と 佐野のお宝 保護作戦!

佐野市制20周年
記念特別企画展

2025年1月25日(土)~3月9日(日)
会期中の休館日/毎週月曜日(2月24日は開館)、祝日の翌日(2月12日、25日)
○開館時間/午前9時30分~午後5時 ○観覧料/一般520円(470円) ()内は20名以上の団体料金
※大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介添者1名は観覧無料(学生証・障害者手帳をご提示ください)
※団体以外は予約不要。現金のみ。入場制限を行う場合がございます。
【主催】佐野市、佐野市教育委員会、佐野市立吉澤記念美術館
【特別協力】国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館
【協力】足利市教育委員会、エラスムス像研究会、(公財)佐野市民文化振興事業団、佐野市天明鋳物振興協議会、佐野商工会議所、大聖院、龍江院



吉澤家資料
「丸山瓦全73歳写真」
昭和21年(1946)
個人蔵

背景画像:「大聖院銅鐘拓本」元文4年(1739)大聖院(佐野市)所蔵



「銅網梅竹文透約燈籠」
重要文化財 天文19年(1550)
東京国立博物館所蔵
Image: TNM Image Archives

16世紀超絶技巧と
近代金工の巨匠の競演

エラスムス立像を見つけ、天明鋳物をももった

丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦！

栃木県の文化財保護に大きな功績のあった考古学者・丸山瓦全が見出した、栃木県佐野市に關係する文化財を紹介する展覧会です。重要な文化財の「発見」経緯や、また金属類回収令など文化財が危機に瀕した際に瓦全がとった「作戦」を紹介します。

足利の考古学者・丸山瓦全(1874~1951)は、幼少期を母の実家である葛生(佐野市)の吉澤家で過ごしました。同家は江戸時代後期以来、書画・文物に深い関心を持つ家で、瓦全と同家との親交は晩年まで続きました。そして、瓦全の代表的な功績のうちの2つが佐野の文化財に関するものでした。

最もよく知られた功績が《木造エラスムス立像(伝貨狄尊像)》(以下エラスムス立像)[重要文化財・龍江院所蔵]の発見です。大正8年(1919)、旗本・牧野家の菩提寺・龍江院(佐野市)の宝物調査に赴いた瓦全が「貨狄様」と呼ばれる木像に注目、広く紹介しました。この像は1598年にオランダで建造され、三浦按針らが乗ったリーフデ号の船尾像であることが判明し、瓦全は国内に所在する意義を説いてオランダへの流出を阻止し、昭和5年(1930)に旧国宝の指定を受けました。本展では同像と共に本像を護り伝えてきた龍江院の作品・資料や発見経緯を示す資料を紹介し、貴重な文化財を護り伝え、その価値を語ることの重要性をご紹介します。

もう一つの功績は、明治末期頃から取り組んだ天明鋳物研究です。戦時の金属類回収令のもとで供出が進む中、瓦全は鋳物の保護と銘文の記録を進め、重要な梵鐘についての保護を求めました。その際、エラスムス像の保護をめぐる経験が活かされたとも指摘されています。本展では、瓦全の保護活動を示す資料と共に、天明鋳物の名品を紹介します。その目玉として、最も複雑で高度な技術で制作された《銅鋼梅竹文透釣灯籠》天文19年(1550)[重要文化財・東京国立博物館所蔵(以下「東博本」)]と《銅鋼梅竹文透釣灯籠》天文14年(1545)[重要文化財・引地山観音堂所蔵・佐野市郷土博物館寄託]のそのい踏みとなります。さらに、丸山瓦全が制作を依頼した東博本の「写し」である香取秀真「銅鋼梅竹文透釣灯籠写」大正13年(1924)[吉澤コレクション]を展示します。東博本を激賞した近代金工の巨匠・香取と瓦全の関心の深さ、そして二人の関係性を示します。

上記のような瓦全の活動は、戦後の佐野の文化財保護行政の重要なルーツとなっています。佐野市では近年「天明鋳物のまちづくり」を推進し、令和5年(2023)1月に「天明鋳物」が商標登録され、また令和6年(2024)3月に「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」が国の「重要有形民俗文化財」指定を受けました。瓦全の活動をたどることは、現在佐野市全体で進める「天明鋳物のまち」としてのルーツを確かめることにもなります。

なお佐野市は令和7年(2025)2月に市制20周年を迎えます。本展を開催することで、佐野の文化財の重要性と市域が文化的につながりが深いことを知り、郷土への愛着を深める機会となれば幸いです。

東京国立博物館

TOKYO NATIONAL MUSEUM

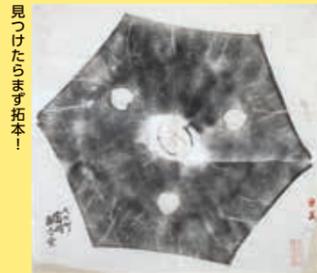
独立行政法人 国立文化財機構

文化財活用センター

NATIONAL CENTER FOR THE PROMOTION OF CULTURAL PROPERTIES

本展は国立博物館収蔵品貸与促進事業の支援を受けて開催します

16世紀の超絶技巧に近代金工の巨匠が挑む！



丸山瓦全「観音堂透釣燈籠笠拓本」個人蔵



「銅鋼梅竹文透釣灯籠」重要文化財 天文14年(1545) 引地山観音堂(佐野市)所蔵

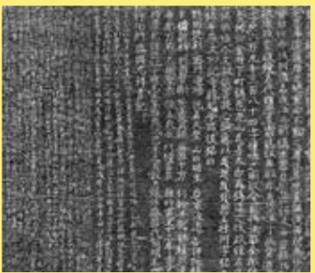


香取秀真作・丸山瓦全依頼「銅鋼梅竹文透釣灯籠写」大正13年(1924)吉澤コレクション



「銅鋼梅竹文透釣燈籠」重要文化財 天文19年(1550) 東京国立博物館所蔵 Image: TNM Image Archives

戦争中の金属供出を生き延びた梵鐘たち！

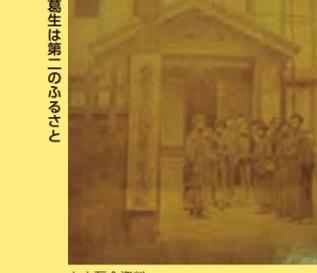


「大聖院銅鐘拓本」元文4年(1739) 大聖院(佐野市)所蔵 ※銅鐘は佐野市指定有形文化財



丸山瓦全資料「安蘇郡西光院梵鐘供養文」昭和23年(1948)個人蔵

瓦全さんは葛生高等小学校(佐野)の卒業生！



丸山瓦全資料「葛生高等小学校第一期卒業生記念写真」明治23年(1890)個人蔵



吉澤家資料「丸山瓦全73歳写真」昭和21年(1946)個人蔵

ごいっしょに～佐野の文化散歩～ ※休館日などについては、各館にお問い合わせください

佐野市葛生伝承館 0283-84-3311 (入館無料)
「難人形展」
2025/1/4(土)～3/9(日)

佐野市葛生化石館 0283-86-3332 (入館無料)
ミニ干支展示「2025年・巳年」
2024/12/7(土)～2025/12月

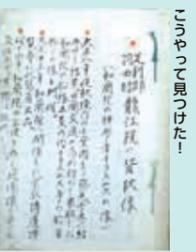
佐野市郷土博物館 0283-22-5111
「くらしのうつりかわり」(無料)
2025/1/4(土)～3/2(日)

佐野市人間国宝田村耕一陶芸館
0283-22-0311 (入館無料)
「茶陶展と暮らしの器」
2024/11/15(金)～2025/3/16(日)

小豆とき婆？貨狄様？実はエラスムス立像！ 西洋の思想家・大航海の目撃者でした



「木造エラスムス立像」重要文化財 龍江院(佐野市)所蔵 画像提供: 東京国立博物館 Image: TNM Image Archives



丸山瓦全「足利郡羽田村龍江院の貨狄像」個人蔵



丸山瓦全「エラスムス立像拓本」大正9年(1920)個人蔵

寺外初公開!エラスムス立像に夢中の瓦全さんが忘れた近世絵画の重要作品



狩野常信「達磨像」承応3年(1654) 龍江院(佐野市)所蔵 (左) 可視線正斜投影画像 (右) 近赤外線正斜投影画像 撮影: 有限会社三井考測



狩野常信「十八歳」

美術館へのアクセス

車

北関東自動車道佐野田沼ICから15分
→国道293号線を利用
→葛生行政センター北側
※宇都宮中心部から60分

電車

東武佐野線 葛生駅徒歩8分

東京・新宿 JR上野東京ライン 55分
JR湘南新宿ライン 50分

北千住 東武伊勢崎線 特急50分

東京 東北新幹線 45分

宇都宮 東武宇都宮・東武日光線 35分

久喜 東武伊勢崎線 30分

館林 東武佐野線 35分

小山 JR両毛線 30分

佐野 JR両毛線 20分

葛生 東武佐野線 徒歩8分

栃木 東武宇都宮・東武日光線 35分

※所要時間は目安です

会期中の催し物	状況により変更になる場合があります。当館HP・Instagramでご確認ください。	 瓦全展ページ
催事名	申込・問合せ先	
【ア】講師 旭堂南明の会 日時: 2025年1月25日(土) 会場: 旧吉澤家住宅(瓦全ゆかりの家)	佐野市役所 産業文化スポーツ部 文化推進課天明鋳物まちづくり係 電話: 0283-20-3044	
【イ】若手鋳物師によるワークショップ 詳細は決まり次第 美術館HPでお知らせします。		
【ウ】特別講演会 「エラスムス像の来航と継承について」 日時: 2025年2月8日(土)14時～15時30分 講師: 森良和氏(元玉川大学教授) 会場: 佐野市葛生地区公民館	佐野市立吉澤記念美術館 電話: 0283-86-2008 12/11(水)9時～受付開始 電話または上記QRのページ内にリンクしている専用申込フォームから	
【エ】特別講演会「丸山瓦全と佐野」 日時: 2025年2月22日(土)14時～15時30分 講師: 竹澤謙氏(栃木県考古学会顧問) 会場: 佐野市葛生地区公民館		
【オ】講演会 「丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦!」 日時: 2025年2月15日(土)14時～15時30分 講師: 末武さとみ(吉澤記念美術館学芸員) 会場: 佐野市葛生地区公民館	佐野市葛生図書館 電話: 0283-86-3416 1/15(水)9時～受付開始	
【カ】展示解説会 日程: 2月11日(火・祝)各30分程度	佐野市立吉澤記念美術館 申込不要	
①13時～: 天明鋳物生産用具(参加無料) 場所: 地域交流センター(美術館内) 解説者: 文化財課職員(パネル展解説)		
②14時～: 丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦! 展 場所: 美術館展示室(要当日観覧券) 解説者: 吉澤記念美術館学芸員(作品解説)		
③15時～: エラスムス像について(参加無料) 場所: 地域交流センター(美術館内) 解説者: エラスムス像研究会(パネル展解説)		

※葛生地区公民館は美術館南隣。会場は2階ですがエレベーターがありません

地域交流センターでの関連展示

- 佐野の天明鋳物生産用具及び製品パネル展
- 天明鋳物の現代作品展示
- エラスムス像研究会によるパネル展示

日時: 2025年1月25日(土)～3月9日(日)
会場: 地域交流センター(吉澤記念美術館内)入場無料

